

1 人口

新市における将来人口については、国立社会保障・人口問題研究所*による「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」を参考に推計すると、合併後の平成30年には、総人口約693,000人、年少人口（0歳から14歳）約88,000人、生産年齢人口（15歳から64歳）約426,000人、老年人口（65歳以上）約179,000人になると予想されます。

※国立社会保障・人口問題研究所…平成8年（1996年）12月、厚生省人口問題研究所と特殊法人社会保障研究所との統合により厚生労働省に設置された国立の政策研究機関。主に、日本の将来人口の的確な見通しや、年金・医療・介護・保育などの社会保障各分野についての社会科学的分析を実施。

2 一世帯当たりの人員・世帯数

新市における世帯数は、平成17年国勢調査データ及び日本の世帯数の将来推計に基づき算出すると、合併後の平成30年には、295,000世帯程度となり、今後も増加傾向が続くと予想されます。

一方、一世帯当たりの人員については、先に推計した将来人口と世帯数の関係から、平成30年には、2.34人/世帯程度となり、現状（平成17年：2.50人/世帯）より減少し、核家族化が一層進行していくと想定されます。

【新市の将来人口及び世帯】（単位：人、世帯）

	平成17年	平成20年	平成25年	平成30年
総人口	697,206	698,857		
	熊本市	677,565	679,013	698,236
	城南町	19,641	19,844	692,556
年齢階層別	年少人口 (14.9%)	103,697 (14.7%)	94,745 (13.5%)	88,029 (12.7%)
	生産年齢人口 (66.3%)	462,179 (65.1%)	443,103 (63.5%)	425,945 (61.5%)
	老年人口 (18.8%)	131,330 (20.2%)	160,388 (23.0%)	178,582 (25.8%)
世帯数	278,869	287,337	291,306	295,428
一世帯当人員	2.5	2.43	2.4	2.34

※平成17年の値は、平成17年国勢調査の数値を記載（熊本市の値は、旧富合町を含む）。

平成20年の値は、平成20年版熊本県推計人口調査結果（年報）の数値を記載（熊本市の値は、旧富合町を含む）。

平成25年、平成30年の将来推計人口は、「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）をもとに推計。

平成25年、平成30年の世帯数は、「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）（平成17年8月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）をもとに推計。

※将来人口などについては、合併後の政策的な要因による増加は含まれていない。